



アスリート雇用の意義について
日本発条株式会社

 (HP 寄稿通算回数)

当社では、2015年12月からアスリートを継続的に雇用しており、現在4名が2020年の東京五輪出場を目指し、日夜練習を重ねています。アスリートにとっては、企業からの経済的支援を受けて、自己記録更新に向けて安心して競技に専念できる環境が整います。また、現役を引退した後も、一般従業員として継続して働くことができます。一方、企業にとっては、アスリートの活躍により知名度が向上し、試合の応援を通じて従業員の一体感が醸成されるという効果も期待できます。

当社の場合、JOC（日本オリンピック委員会）を通じて、陸上跳躍女子選手を3名、冠スポンサーをしている「ニッパツ横浜FCシーガルズ」（なでしこ2部リーグ）に所属している女子サッカー選手を1名、計4名を現在雇用しています。配属先は総務部と人事部で、出社日や1日の従事時間が試合や練習等で制約されるため、定常的な業務を提供しにくい点が課題の一つです。

アスリートとしてのキャリア形成と、社会人としてのキャリア形成の両立を目指す、新しい雇用制度に取り組んで2年余りが経ちました。「一つの道を究める人材は、会社全体にも好影響を与えてくれる」ことを信じ、多様な人材を活かし、活躍を支援できる制度の一つとして、継続的に取り組んでいきたいと考えます。



【当社アスリート】



YNUS & ニッパツ 陸上跳躍教室
2018.1.21 (日)
横浜国立大学グランド



【当社アスリートが、社会貢献活動の一環として、各種イベント（陸上・サッカー教室）
において、子どもたちへの指導役として参加】